

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開 会 令和6年8月19日 午後 2時00分

2 閉 会 令和6年8月19日 午後 3時30分

3 場 所 総合福祉センター2階 教養研修室

4 出席又は欠席した委員

出席委員

教育長	久 山 延 司
教育長職務代理者	三 宅 眞砂子
委 員	児 島 塊太郎
委 員	三 上 啓 子
委 員	瀬 尾 英 子

5 会議に出席した者

教育部長	江 口 真 弓
教育部参事兼部活動地域移行推進室長	
	矢 吹 慎 一
学校教育課長	村 山 俊
こども夢づくり課長	大 西 隆 之
教育総務課主幹	高 谷 直 樹
学校教育課指導主幹	時 光 皓 之

6 会議録署名委員

久 山 延 司	児 島 塊太郎
---------	---------

7 付議事件

議案第18号 総社市教育復興子育て基金条例を廃止する条例について 原案可決

8 議事の概要 別紙のとおり

【開会 午後2時00分】

◆久山教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。この教育委員会には、議案1件が付議されております。まず、議事録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私のほか、出席委員中、児島委員にお願いします。

それでは議案第18号「総社市教育復興子育て基金条例を廃止する条例について」事務局から説明願います。

◆村山学校教育課長 それでは、議案第18号「総社市教育復興子育て基金条例を廃止する条例について」ご説明いたします。まずこの条例は、平成30年7月豪雨災害により被災した子供たちの生きる力、確かな学力、豊かな心、及び健やかな体を育む事業に要する経費の財源に充てるため、総社市教育復興子育て基金を設置するという目的で設置されました。令和5年度決算に於いて、その全額を執行しましたことから、この基金を廃止しようとするものでございます。

◆久山教育長 ただいま事務局から説明がありました、議案第18号について、ご質問等ございませんか。

◆児島委員 基金としていくらあったのですか。

◆村山学校教育課長 基金といたしましては、105万9187円でございます。

◆児島委員 何人の子供さんにそれが基金として渡ったのだろうか。

◆村山学校教育課長 子供にと言いますより、学校への支援の金額として、実際には被災された学校園の図書ですとか、そういう関係のものに渡っております。以上です。

◆久山教育長 どこどこの学校か分かりますか。

◆村山学校教育課長 小学校が神在小学校、昭和小学校、清音小学校。中学校は4校全てで総社東中学校、総社西中学校、総社中学校、昭和中学校です。以上です。

◆久山教育長 ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

◆三上委員 必要な分をもう使い切ってしまったのかということですかね。

◆村山学校教育課長 基金として積み立てられていた予算額を執行したので、ということです。

◆三上委員 使い切ったということで、これからはもう渡されないということは各学校でご存知なのですか。

◆村山学校教育課長 例年の配分に加算して、学校に配分しておりましたので、次の年には加算はされないという形で、案内にはなるかと思えます。まだ案内はしていません。

◆久山教育長 そうということが分かるように、明確に知らせた方がいいですよ、ということですね。

◆三上委員 はい。

◆久山教育長 ありがとうございます。ほかにございませんか。それではお諮りします。議案第18号については可決ということによろしいでしょうか。

(異議なし)

◆久山教育長 それでは可決されました。ありがとうございました。次に教育長報告を何点かさせていただきます。まず初めに、オーストラリアのホームステイですが、12人の中学生をオーストラリアに派遣しました。キューハイスクールという学校に派遣しております。これは8月3日から8月12日までの10日間の派遣をしたわけですが、無事帰ってきました。それから2点目ですが、7月終わりに学力調査の結果が出ました。新聞でも報道されましたので、全体的なことはご存知だと思いますが、その中で総社市がどうだったか、という状況なのかということはこのあと担当者から説明いたします。一番の課題は、学力で平均正答率がいくらかということ以上に、中学生の1日の学習時間が非常に短い。逆にスマホだとか、SNS、ゲーム、そのようなことに費やしている時間が長いという、これは全国的な傾向なのですが、それが結局、勉強時間、家庭での学習時間を圧迫するだけでなく、睡眠時間が短くなって健康を害したり、それからエスカレートすると昼夜逆転して、不登校につながったりという問題も、そういう検証が出来ているわけではないのですが、そういうところもつながっていくのではないかという心配が、今回の学習状況調査で表れています。3点目としまして、この夏、総社南高校が小学生向けに、夏休みの宿題、英語、美術などを一緒にしましょうということで、教育委員会との連携事業でした。今年度は特に、総社高校、総社南高校との連携がかなり進んできています。これは高校が積極的に提案してくださっているということも多分にあるのですが、我々のニーズも伝えながら、いい連携が出来ていると思います。具体的には、9月14日にはオーストラリアから総社南高校との交流で、ホームステイ団が来られます。そのホームステイ団が高校生なのですが、ホームステイ団と総社市の小・中学生の交流事業を9月14日に予定しております。これも総社南高校で、日にちはまだ確定していないのですが、英語スピーチの、校内のコンクールがあります。それを昭和五つ星学園の全員で聴くという事業もします。それから総社高校では、防災をテーマに、全国で4校によるプレゼンが姫路市でありました。英語のプレゼンに総社高校が出場したということで、その発表を昭和五つ星学園で再度発表会をしていただく計画を8月30日に予定しております。それから幼稚園のボランティアで、高校生のボランティアを引き受けている園はあるのですが、園長会で話をして、高校生のボランティアを拡大していくことを計画しているところです。高校生との連携事業というのは、小中学生、幼稚園の子どもにプラスになると思っておりますし、高校生にとってもプラスになることが多いと思います。それとともに我々としては教員不足、保育士不足という中で、高校生の時から、幼稚園、小学校、中学校の子どもと接して、自分の得た知識とか技能とかが子どもたちのために役に立つという経験をすることによって、将来、教員、保育士などを目指してくれる生徒が増えたらありがたいという目的もあります。大学との連携もさることながら、高校生との連携をしっかり、いろんな方面から進めていきたいと思っていますところです。それから4点目としまして、1枚ものを後からお配りしていると思います。学校数というタイトルの資料です。これは、岡山県内の小中学校の統廃合とか、義務教育学校化を一覧にしたものです。表面は決定しているものを挙げております。令和7年度に大幅に統合があります。7年の4月1日か

ら、これだけの学校が統合されるということは、無くなるということです。吉備中央町は、小学校9校が3校になります。吉備中央町だけで6校減るという状況です。それから、浅口市とか高梁市は、義務教育学校化をしていくということ。高梁市は、義務教育学校とは別に、小学校の統廃合もします。玉野市は、1つ統合があるのですが、これ以外にも、この前新聞に大きく出ていましたが、今後相当数の、吉備中央町並みの統合を進めていく予定になっているようです。それから、令和8年度には、赤磐市が3校を1校に、倉敷市でも義務教育学校により2校減ることになります。これだけの数が、統合されて無くなっていくということです。県内の学校数をそこに挙げておりますが、これは岡山市以外の県内の学校数です。裏面には義務教育学校の推移が出ております。このような状況だということを知っておいていただきたいということと、こういうふうになると、一部では教員不足、特に不足しているのが代員です。育児休業の代員や病気休職者の代員、そういう代員なのですが、正規の職員では、例えば学校がぐっと減っていくとなると、一人職、養護教諭とか事務職員、英語教諭、大規模の学校では二人いるところもありますが、基本的には一人職、それから校長、教頭の人事にかなり大きな影響がある状況になっています。これまでの人事異動とか、教員採用とも見直す必要があることになっていきますので、県教委と市教委が綿密な連携を取りながら進めていきたいと思っております。私の方からは報告は以上です。何かご質問はございますでしょうか。

◆三上委員 感想ですが、高校との連携というのをとても心強く感じました。今まで、小中とか、中高はありましたけれど、幼稚園まで含んだ連携というのはとても素晴らしいなと思いました。何よりも高校生が地域を愛するという意識を持つのに有効かなと思ったので、これからも続けていただけたらと感じました。

◆久山教育長 ありがとうございます。中高連絡会がずっと昔からあるのですが、中学校の校長と、高校2校の校長と教育委員会との会議を年2回しているのですが、高校の校長先生の発言を聞いても、非常に地域貢献を積極的にしたいとおっしゃっていました。去年、30年豪雨災害から5年ということで、高校生と中学生も参加しての、市民会館で大きな復興イベントをしました。それも一つのきっかけになったのかなと思いますが、幼稚園、小学校、中学校との連携を深めながら地域に貢献していきたいというご意向を示されておりましたので、これからはしっかりしていきたいと思っております。

◆瀬尾委員 統合することによって、登下校の距離がすごく長くなったりするのは、どのようなのでしょうか。

◆久山教育長 県内、地域によって違うのですが、かなりのところでは通学バスを出されるようです。高梁市の一部は、学区を変えとか、徒歩通学だと遠くなるのでこちらの学区へということも一部あるようですが、基本的には学区を変えずに通学バスで対応している市町村が多いようです。

◆児島委員 致し方ないとは思っただけど、これを見ていると、統合しても自力ではとても小学校へ通えるような距離じゃないですね。そうなると、例えば宇治の小学校へ通わせて

も、若い夫婦が宇治へ住んでいるわけですね。おじいちゃんおばあちゃんが住んでいたとしても、隣に新しい家を建てて住んでいる人たちが、高梁の街へ出てきたり、総社の街へ出てきたりするようなことになりますよね。

◆久山教育長　そういう可能性はあります。

◆児島委員　総社市でも新しい家が建っている。高梁市から来られた若いご夫婦が結構いますけど、まさしくそれを推し進めるような施策ですね。

◆久山教育長　そういう一面はあると思いますが、本市の場合、義務教育学校を作ったのですが、それによって、維新小学校、維新幼稚園は廃校になっています。その地域の維新小学校に通わせている保護者は、学校が無くなるし遠くなって困るなという側面もあると思うのですが、半面、数人のクラスで学校生活を送らせるよりも、もう少し大きい集団で切磋琢磨しながら多くの子どもと仲良く過ごしながら学校生活を送らせたいというお気持ちもあります。どちらかという子育て世代の保護者のご意向は、後者の方が多いような状況です。そういうことによって、児島委員さんが言われるように転居を考えたりも無きにしも非ずでしょうね。

◆児島委員　寄島なんかは特に、若い方が喜ばれていると聞いていますけど。

◆久山教育長　寄島は、浅口市そのものが、結構、総社市から教員も行っているし、浅口市からもこちらに来られているし、特に今の浅口市の学校教育課長は、維新小学校の校長をされていた人だったりしますから、昭和五つ星学園と、寄島の来年できる義務教育学校が良く連携をしながら進めているのです。お互いのいいところを吸収しながらやっていきたいと思っています。

◆三宅委員　義務教育学校と地元の学校というのは、ちょっとコンセプトが違ような気がして、義務教育学校は学区外から来ている人が結構いる。何か特色があるような感じのものが打ち出せたらいいのかなと思いました。

◆久山教育長　義務教育学校というのが、県内で4校くらいです。岡山市を入れたら5校になるのですが、実際に学区外から通学できるのは、昭和五つ星学園だけだと思います。昭和五つ星学園は、義務教育学校だから学区外から行けるのではなくて、英語特区だから行けるということになっている。ただ、昭和五つ星学園の場合は、義務教育学校と英語特区の特色や学区外からも来られるということを学校経営の大きな柱としていることです。今回の教育時報にも特区を取り上げていただいておりますので、またご覧になっていただきたいと思います。これは年度が始まってからも増えていますし、問い合わせがあったり、学区外から相談に来られたりして、年度途中で入学された方もおられます。先ほど三宅委員が言われたように、特色というのは、義務教育学校はもちろんだけど、特区として、しっかり中身を充実させるということもあるし、PRしていくことが大事かなと思っております。

◆児島委員　総社市立昭和五つ星学園という学園を謳っているのが大切。大学でも高校でも、学園がどう学校を維持管理していくか、どういう教育をするかということが謳われているわけですね。

◆久山教育長 名称は昭和五つ星学園義務教育学校ということではあるのですが、昭和五つ星学園義務教育学校には幼稚園は入っていない。幼稚園を含めたら昭和五つ星学園ということで、幼稚園から中学校まで、12年間一貫したというのが大きな柱だと思います。

◆児島委員 この、自然環境教育、実践的な英語教育、12年間の一貫教育ということで、最後に幼稚園の3年間が載っている訳ですね。

◆久山教育長 自然環境教育も、英語教育も、幼稚園からしていくということで、それが学園の一貫性で特色は幼稚園から同じようにしています。

◆児島委員 そうするとそれが、総社市に学園が3つも4つもできたと、お互いが切磋琢磨して違う学園組織を作って、人材を育成していく。そういうふうになれば非常にいいですね。

◆久山教育長 今後、学校の体制整備を考えていかないといけない状況になった時には、1つのモデルになるかと思います。今の段階では、幼稚園も小学校、中学校も、昭和五つ星学園以外は維持するという方向です。

◆児島委員 それこそ、学園都市構想というのがあるじゃないですか。今一番県内でうまくいっているのは川崎学園ですね。あそこが福祉の部分まで取り入れて、大学として街を作って、学園として学生たちを呼び込んで街ができています。そういうものを義務教育学校で作ってあげれば、その近くに住みたいと思いますよね。そうなるといいよね。総社市は、そういう環境はあると思う。水も豊かだし自然環境もいいですね。

◆久山教育長 ありがとうございます。ほかにありませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、次に報告事項等に移ります。「岡山県及び全国学力・学習状況調査結果について」事務局から説明願います。

【事務局説明】

◆久山教育長 それでは、次に江口部長から報告します。

◆江口教育部長 昭和五つ星学園の環境学習、野口健さんが名誉校長ということで、実施する事業につきまして、今年度の事業が、今週の21・22日にキャンプをやろうということで、旧維新小学校を会場にキャンプを行います。残念ながら野口校長はこの日、ご都合がつかずに、基本は学校と維新、昭和の地域の方の協力を得ながら実施することになっております。希望者は一泊、旧維新小学校に泊まる企画です。もう一つ、山を作るという山づくりの活動は、今のところ10月末を予定しております。野口健さんとの日程を調整中でございますが、場所としては昭和の下倉に共有で持っている山がございます。そこを、森林組合の協力を得て、間伐、木を切ってみる体験をしたり、子どももノコギリで切ってみる、森を作っていく学習をします。今の状況だと陽が入っていないような、森が元気がないなというところを元気にしていこうというようなところを、何年かかけてやっていこうと考えているところです。以上です。

◆久山教育長 ありがとうございます。先ほどもありました、昭和五つ星学園の特色ある教育の一環として、こういう環境教育を進めています。我々ではなかなか、森をつくるという発想は浮かばないのですが、野口さんの発想から、そんなことできるのかなと思いましたが、その一部を作ることによって、森を元気にすることによって、環境ということについて考える学習です。場所を探すのにかなり山を歩いて、苦勞して1か所を決めたのですが、そこでやっていこうと思います。

◆三上委員 子どもたちが実感できる、何年か経ってでもやったことが形になることは、わくわくしますよね。

◆久山教育長 そのほか、ありませんか。よろしいですか。

それでは、次回の教育委員会の日程ですが、9月20日（金）午後2時から、総合福祉センター2階 教養研修室で開催いたします。

次に、10月の教育委員会の日程を調整したいと思いますので、事務局から提案願います。

10月の教育委員会について日程調整

◆久山教育長 それでは、10月の教育委員会は、10月21日（月）午後2時から総合福祉センター2階 教養研修室で開催いたします。

これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉会 午後3時30分】